

# 第2期地域福祉活動計画

(令和6年度～令和10年度)

みんなで支え合う島  
ふれあいのまちづくり

令和6年4月  
社会福祉法人上島町社会福祉協議会

## はじめに

上島町社会福祉協議会では、平成28年4月に「第1期地域福祉活動計画」を策定し、「みんなで支え合う島 ふれあいのまちづくり」を基本理念として、「町民の皆様を主体とした地域」の実現に向けて、町民の皆様や行政、関係機関と協働し、様々な事業に取り組んでまいりました。

しかしながら、世界的に流行した新型コロナウイルス感染症の拡大は、本町にも大きな影響を及ぼし、地域福祉活動計画のあり方についても新たな取り組み方が求められました。

また、本来であれば令和3年4月に第2期の本計画を策定し、発行すべきところ、策定、発行が遅れましたこと、紙上より深くお詫び申し上げます。

この間にも本町も全国的な傾向と同様に、少子化、高齢化、核家族化、単身化、高齢者世帯の増加などにより、地域社会を取り巻く環境は大きく変化し、住民相互の「つながり」の希薄化など、地域が抱える福祉課題、生活課題は、ますます複雑多様化しています。

国においては、制度や分野ごとの縦割りや支える側、受ける側という従来の分けを超えて、誰もが地域でつながり、支え合う「地域共生社会の実現」に向けた改革が進められています。

このような社会情勢の中、引き続き本会では「みんなで支え合う島 ふれあいのまちづくり」を基本理念とし、さらなる「町民の皆様を主体とした地域」の実現に向けた取り組みの指針として「第2期地域福祉活動計画」を策定しました。

最後に、本計画策定にあたりご意見をいただきました町民の皆様や行政、関係機関、団体等の皆様に深く感謝申し上げますと共に、今後も「地域共生社会の実現」に向け、役職員一丸となり、さらなる地域福祉の推進に取り組んでまいりますので、町民の皆様や行政、関係機関、団体等の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い致します。

令和6年4月1日

社会福祉法人上島町社会福祉協議会  
会長 宮川 阪 光

## 目次

第1章 地域福祉活動計画の概要	1
1. 地域福祉活動計画策定と意義	
2. 地域福祉活動計画策定の体制	
3. 地域福祉活動計画策定の流れ	
第2章 上島町の概要	5
1. 上島町の位置と生活環境	
2. 上島町の人口等	
第3章 上島町社会福祉協議会とは	8
1. 上島町社会福祉協議会の概要	
2. 上島町社会福祉協議会の沿革	
3. 上島町社会福祉協議会の事業内容	
4. 上島町社会福祉協議会の組織	
第4章 第1期地域福祉活動計画地域目標・計画	14
1. 第1期地域福祉活動計画（平成28年度～令和2年度）の各地区基本目標・基本計画	
2. 第1期地域福祉活動計画に基づき取り組んだ主な住民活動に対する評価と課題	
第5章 第2期地域福祉活動計画地域目標・計画	19
1. 第2期地域福祉活動計画基本理念・基本目標	
2. 第2期地域福祉活動計画生名地区基本目標・基本計画	
3. 第2期地域福祉活動計画岩城地区基本目標・基本計画	
4. 第2期地域福祉活動計画魚島地区基本目標・基本計画	
5. 第2期地域福祉活動計画弓削地区基本目標・基本計画	
第6章 参考資料	25
1. 「みんなで支え合う島 ふれあいのまちづくり」をめざしてアンケート	
2. ワークショップにおける住民の声	
3. その他の場面における住民の主な声	
4. 策定委員会設置要綱	
5. 策定委員等	

## 第1章

### 地域福祉活動計画の概要

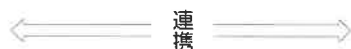
1. 地域福祉活動計画策定と意義
2. 地域福祉活動計画策定の体制
3. 地域福祉活動計画策定の流れ

## 1. 地域福祉活動計画策定と意義

「地域福祉」とは、子どもから高齢者まで誰もが住み慣れた地域で、尊厳を持って安心して暮らせるように、地域住民や社会福祉協議会、その他の福祉関係機関・団体等がお互いに協力し、地域の福祉課題に取り組む考え方です。また、『地域福祉活動計画』とは、“理想の地域”を目指すために、それらの人々が協力し、策定する地域福祉活動に関する行動指針です。計画を策定する過程において、地域の様々な課題や目標を明らかにすると共に、情報を共有することで、その解決に向けて地域全体が同じ方向を向き、活動に対して協働することができます。そのような中、目標に対して活動がうまく展開されたかどうかを振り返り、次の課題を明らかにすることにもつながります。この過程において最も重要なのは、地域の住民が中心となり『これからの地域像』を考えることであり、社会福祉協議会が住民の皆さんと共に活動計画を考えること自体が、地域福祉の中でも大きな意味を持ちます。

また、現在上島町においても、少子化や高齢化、人口の減少等により、以前は地域の中で当たり前前に解決できていたことも、今までの方法では解決が難しくなっています。さらに、家族構成や就労形態の変化に伴い、生活スタイルも大きく変わってきました。このような状況下において、地域における福祉課題やニーズは複雑・多様化し、行政や専門機関が提供するサービスだけでは解決できない課題も増えたことから、住民主体による新たな支え合いの活動が少しずつ進められています。

今後も住民・社会福祉協議会・各種団体等がさらに協力し合い、福祉課題やニーズを共有することで、課題の解決等に向けて同じ目標を持って協働し、住民を主体とした地域福祉活動を中長期的な視点で進めるための行動計画である地域福祉活動計画の策定が必要です。上島町社会福祉協議会では、これからも住み慣れた地域で誰もが安心して暮らしていくために、地域福祉活動計画を基に、地域の住民を主体とした協働による支え合いの仕組みづくりに取り組んでいきます。



## 2. 地域福祉活動計画策定の体制



### 3. 地域福祉活動計画策定の流れ

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4
計画に基づく実践・評価・見直し	計画策定に向けた準備・組織作り	ニーズの把握	計画作り
決定した内容を地域住民や関係機関等へ周知。また、適正な進行管理を行い、定期的に評価、見直しを行う。	社会福祉協議会として地域福祉活動計画作りに取り組むことを決定し、計画作りの気運を高めたり、関係団体等へ呼びかけを行う。	住民参加・協働により地域特性や社会資源・福祉サービスの現状等を調査し地域の福祉課題の把握整理を行う。	整理された福祉課題を解決に向けてため、小委員会等で基本理念や基本目標を決定し、具体的なプログラムを作成する。また、計画内容について、策定委員会や理事会・評議員会において決定する。
計画の公表・広報 計画に基づいた事業の実施 地域住民や関係機関等の評価	職員勉強会 行政機関等への説明 策定委員会の設置	アンケート調査の実施 ワークショップ等での意見集約	STEP 1から繰り返し返す
		集計・分析・課題の整理	
		地域計画の設定	
		地域目標の設定	
		基本目標の設定	
		基本理念の設定	
		策定委員会での修正・決定	
		地区別	
		計画全体	

【地域福祉活動計画の流れ】



## 第2章 上島町の概要

1. 上島町の位置と生活環境
2. 上島町の人口等



## 1. 上島町の位置と生活環境

上島町は愛媛県の北東に位置しており、2004年（平成16年）10月1日に旧生名村・岩城村・魚島村・弓削町が合併し、本年は合併20周年の節目を迎えます。

瀬戸内海に浮かぶ25（うち有人島7）の島々から成る全国的にも珍しい離島のみ自治体であり、弓削島と佐島を結ぶ「弓削大橋」、佐島と生名島を結ぶ「生名橋」、生名島と岩城島を結ぶ「岩城橋」、この4島を結ぶ3つの橋の全線開通により、「ゆめしま海道」が完成しました。

### 交通

主な交通は、海上交通であり、広島県尾道市に接していることから、西瀬戸自動車道（瀬戸内しまなみ海道）等による広島県側へのアクセスの利便性により、尾道市及び福山市等を主な生活圏域としている住民が多く見られます。また、瀬戸内しまなみ海道との距離は近く、小さいとはいえフェリーがシャトル運航されています。ただし、フェリーは広島県側としか接続されておらず、愛媛県の主要都市へ自動車で直接渡る手段はありません。なお、愛媛県今治市へは快速船が運航されており、旅客は直接行くことができます。しかしながら近年は、広島県側、愛媛県側問わず定期航路の廃止、減便により、町民が町外へ移動する手段に影響が見られます。

### 産業など

農業では柑橘類の栽培が盛んであり、岩城島は青いレモンの島で全国的に知られています。漁業では魚島の周囲は鯛がよく獲れる好漁場として知られており、弓削島での海苔の養殖や、生名島のクルマエビの養殖等が盛んに行われています。岩城島では造船工場が立地しており、島の大きな産業となっています。また金属加工業では、船用部品やクレーン等の工場が立地し、造船関連の産業も盛んに行われています。

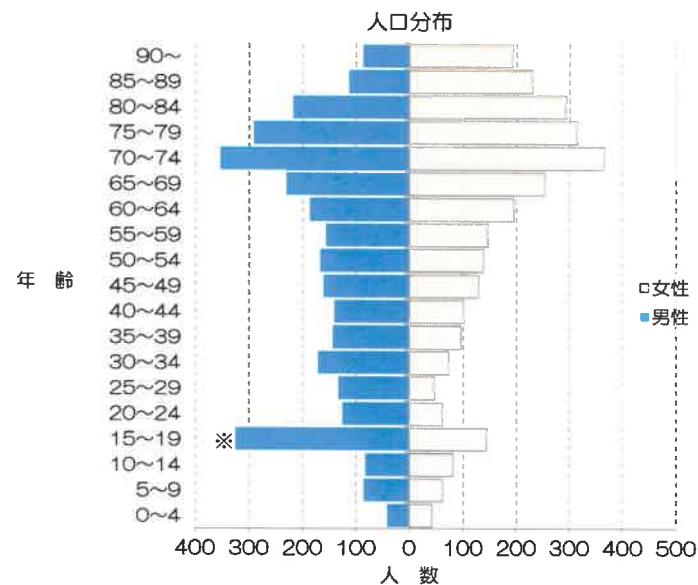
行政庁舎	
総合支所	4箇所
保育・教育機関	
保育所	4箇所 (内休所1)
小学校	4校
中学校	3校
高等学校	1校
高等専門学校	1校
障害者総合支援法関連事業	
特定相談支援事業所	1箇所
居宅介護事業所	1箇所
重度訪問介護事業所	1箇所
移動支援事業所	1箇所
ボランティア	
登録団体数	15団体

介護保険関連事業所	
居宅介護支援事業所	2箇所
地域包括支援センター (サブセンター除く)	1箇所
訪問介護事業所	3箇所
通所介護事業所	7箇所
短期入所生活介護事業所	1箇所
福祉用具貸与事業所	1箇所
特定福祉用具販売事業所	1箇所
小規模多機能型居宅介護事業所	2箇所
特別養護老人ホーム	1箇所
当事者の会の組織	
障がいを持つ子どもの親の会	1グループ
地区社会福祉協議会	
団体数	4団体

## 2. 上島町の人口等

【令和5年4月1日現在】

人口	6,187人	男性 3,217人	女性 2,970人
世帯数	3,702世帯		
65歳以上人口	2,947人		
高齢化率	47.6%		
要介護認定者数	403人		
要支援認定者数	177人		
認知症高齢者数	320人		
寝たきり高齢者数	177人		
療育手帳保持者数	48人		
精神保健福祉手帳保持者数	50人		
身体障がい者手帳保持者数	381人		
生活保護受給世帯数	14世帯		



※分布図中、15歳～19歳の多くは、弓削商船高等専門学校の寮生が占める

## 第3章

# 上島町社会福祉協議会とは

1. 上島町社会福祉協議会の概要
2. 上島町社会福祉協議会の沿革
3. 上島町社会福祉協議会の事業内容
4. 上島町社会福祉協議会の組織

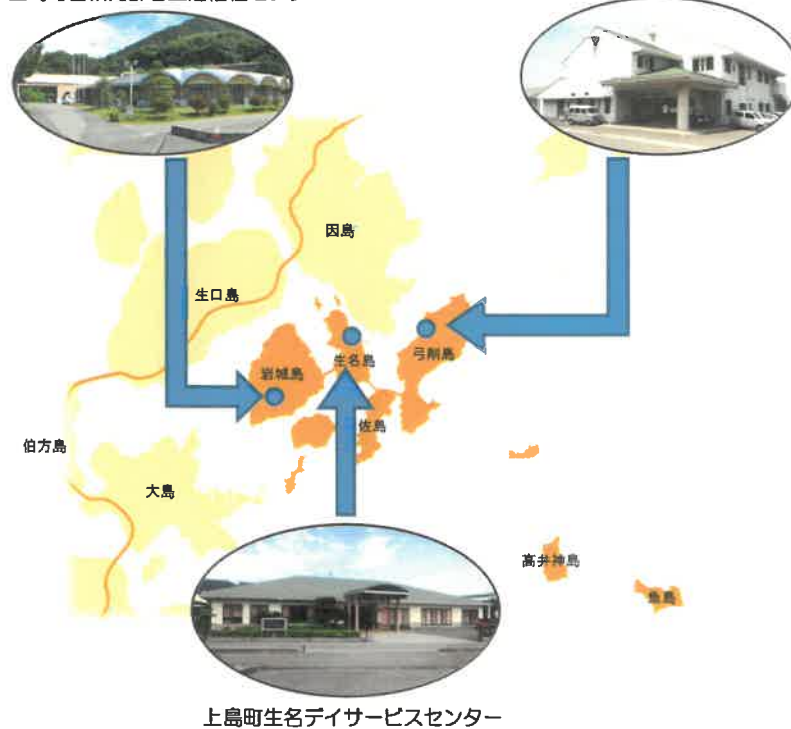
## 1. 上島町社会福祉協議会の概要

上島町社会福祉協議会は、平成16年10月の町村合併に伴い、それまで生名村・岩城村・魚島村・弓削町にあった各社会福祉協議会を合併しました。当初は本所・支所体制でのスタートでしたが、平成20年に生名地区へ事務局を統合しました。

現在の主な取り組みとしては、介護保険事業としての、居宅介護支援事業所、訪問介護事業所、下記の3施設で通所介護事業所を運営しているほか、障がい福祉サービス事業として、相談支援事業所、居宅介護事業所の運営も行っています。また、要介護認定者や身体障がい者等移動への不安を抱える住民を対象に、通院等の移動手段の確保を図る為、福祉有償運送事業を実施しています。さらに生活困窮者自立相談支援事業・家計改善支援事業・就労準備支援事業を受託し、生活困窮者への支援体制を構築しているほか、住民誰もが住みやすい暮らしの実現を目指し、さまざまな取り組みを行っています。

上島町岩城高齢者生活福祉センター

上島町弓削高齢者生活福祉センター



上島町生名デイサービスセンター

## 2. 上島町社会福祉協議会の沿革

### 合併前

昭和 54 年	4 月	社会福祉法人弓削町社会福祉協議会を設立
平成 元年	4 月	社会福祉法人岩城村社会福祉協議会を設立
平成 3 年	4 月	社会福祉法人生名村社会福祉協議会を設立
平成 12 年	4 月	介護保険制度がスタート ・通所介護事業開始（生名・岩城） ・訪問介護事業開始 ・居宅介護支援事業開始（岩城・弓削）

### 合併後

平成 16 年	10 月	社会福祉法人上島町社会福祉協議会を設立 本所(岩城地区)・生名支所・岩城支所・弓削支所を置く
平成 18 年	10 月	障害福祉サービス事業開始
平成 19 年	4 月	介護予防事業開始 福祉有償運送事業開始 移動支援事業開始
	8 月	福祉用具リサイクルサービス事業開始
平成 20 年	4 月	支所体制を廃止し、事務局・居宅介護支援事業所・訪問介護事業所を生名地区へ集約する
平成 21 年	4 月	指定管理者として 3 施設の経営開始 ・上島町生名デイサービスセンター ・岩城高齢者生活福祉センター ・弓削高齢者生活福祉センター 通所介護事業開始（弓削）
	8 月	福祉サービス利用援助事業開始
平成 22 年	3 月	ふれあいいきいきサロン事業開始
平成 23 年	9 月	ホームページ開設
平成 24 年	4 月	小地域連携支援事業実施（～平成 26 年度）
平成 27 年	4 月	生活困窮者自立相談支援事業開始 特定相談支援事業開始
平成 28 年	4 月	第 1 期地域福祉活動計画発行 生活困窮者家計改善支援事業開始 通所介護事業所を地域密着型へ変更
平成 29 年	4 月	生活支援コーディネーター受託、実施
平成 30 年	7 月	西日本豪雨災害により上島町災害ボランティアセンターを設置・運営
令和 3 年	4 月	小地域連携支援事業実施（～令和 5 年度）
令和 4 年	4 月	生活困窮者就労準備支援事業開始

## 3. 上島町社会福祉協議会の事業内容

### 1 法人運営事業

- ① 理事会・評議員会の開催
- ② 監事会の開催
- ③ 評議員選任・解任委員会の開催
- ④ 社協会員募集
- ⑤ 役職員の研修会への参加
- ⑥ 職員研修の実施
- ⑦ 職員連絡調整会議・専門員会議・事業会議の開催



### 2 地域福祉推進事業

#### (1) 企画・広報事業

- ① 社協だよりの発行（年 4 回）
- ② 社会福祉大会の開催（隔年）
- ③ かみじま福祉フェスタの開催（隔年）
- ④ ホームページ及びフェイスブックを活用した情報の公開



#### (2) 総合相談事業

- ① 一般相談事業
- ② 生活困窮者自立相談支援事業《くらしの相談支援室》（県受託事業）
- ③ 生活困窮者家計改善支援事業《くらしの相談支援室》（県受託事業）
- ④ 生活困窮者就労準備支援事業《くらしの相談支援室》（県受託事業）
- ⑤ 生活福祉資金事業（県社会福祉協議会受託事業）
- ⑥ 臨時特例つなぎ資金貸付事業（県社会福祉協議会受託事業）
- ⑦ 福祉サービス利用援助事業
- ⑧ 法人後見事業

#### (3) 地域活性化等事業

- ① 地区社会福祉協議会との連携
- ② 福祉用具リサイクルサービス事業
- ③ 福祉機器貸出事業
- ④ 地域福祉活動計画の推進
- ⑤ ボランティア団体等の育成支援



#### (4) 共同募金配分金事業

- ① 赤い羽根共同募金運動（10月から12月）
- ② 配分金事業
  - ア) 老人福祉関係事業
    - ・地域支え合い活動推進事業
      - a. ふれあいいきいきサロンの開催支援
      - b. サロンボランティアの育成
    - ・高齢者と子供のためのクリスマス会（魚島地区）
  - イ) 障がい者福祉関係事業
    - ・身体障がい者交流会



- ウ) 児童福祉関係事業
  - ・福祉教育推進事業（福祉体験学習）
  - ・少年の日を祝う会等記念品の贈呈
  - ・保育所卒園記念品の贈呈

- エ) ボランティア関係事業
  - ・ボランティア保険の加入促進

- ③ 歳末たすけあい募金運動（12月）
- ④ 歳末たすけあい募金配分金事業（12月）

### 3 介護保険サービス事業

#### (1) 上島町社協居宅介護支援事業所

- ① 居宅介護支援事業（介護保険事業）
- ② 介護予防居宅介護支援事業（町受託事業）
- ③ 要介護認定調査事業（町受託事業）

#### (2) 上島町社協訪問介護事業所

- ① 訪問介護事業（介護保険事業）
- ② 介護予防・日常生活支援総合事業≪第1号訪問事業≫（介護保険事業）
- ③ 生活支援ホームヘルプサービス事業（町受託事業）

#### (3) 上島町社協（生名・岩城・弓削）通所介護事業所

- ① 地域密着型通所介護事業（介護保険事業）
- ② 介護予防・日常生活支援総合事業≪第1号通所事業≫（介護保険事業）
- ③ 生きがい活動支援通所事業（町受託事業）
- ④ 運営推進会議の開催

### 4 障害福祉サービス事業

#### (1) 上島町社協相談支援事業所

- ① 特定相談支援事業（障害福祉事業）

#### (2) 上島町社協居宅介護事業所

- ① 居宅介護事業（障害福祉事業）
- ② 重度訪問介護事業（障害福祉事業）
- ③ 移動支援事業（町受託事業）

### 5 生活支援体制整備事業（町受託事業）

### 6 指定管理事業（公益事業）

#### (1) 施設の管理運営

- ① 上島町生名デイサービスセンター
- ② 上島町岩城高齢者生活福祉センター
- ③ 上島町弓削高齢者生活福祉センター

#### (2) 地域拠点整備事業

- ① 上島町岩城高齢者生活福祉センター
- ② 上島町弓削高齢者生活福祉センター

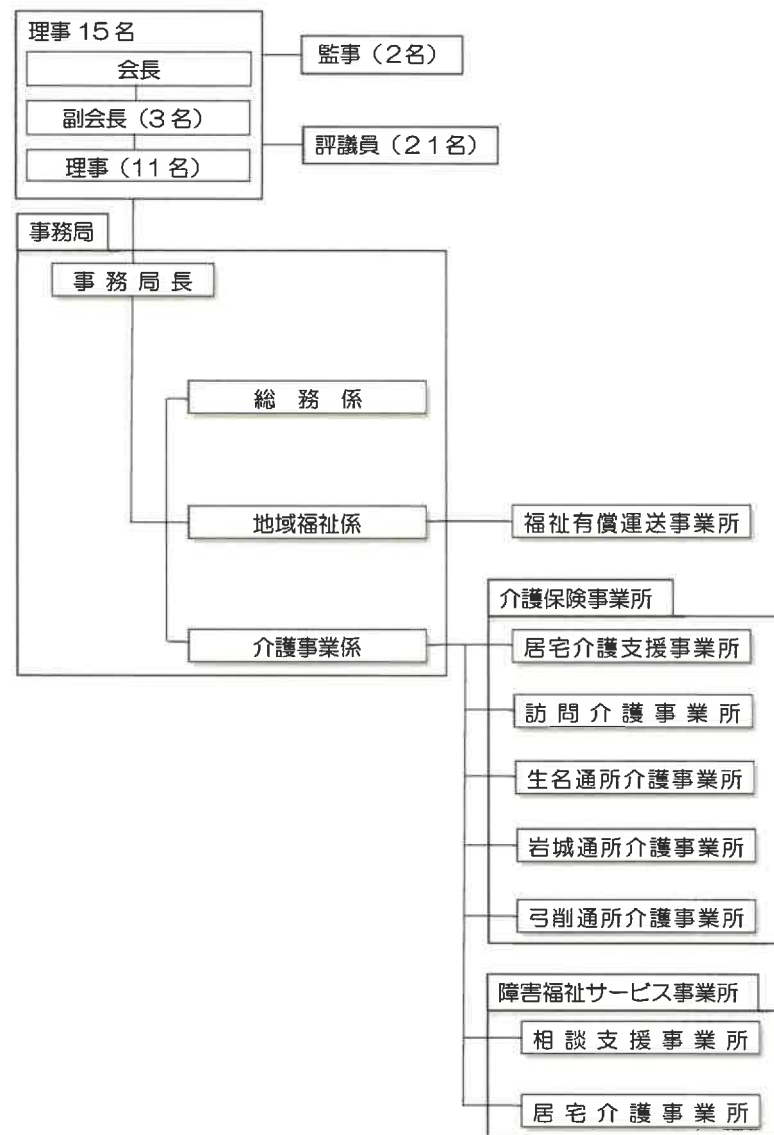
### 7 福祉有償運送事業（公益事業）

### 8 その他の活動

- ① 日本赤十字社の会員募集（5月）
- ② 日本赤十字運動への理解と促進



## 4. 上島町社会福祉協議会の組織



## 第4章

### 第1期地域福祉活動計画 地域目標・計画

1. 第1期地域福祉活動計画（平成28年度～令和2年度）の各地区基本目標・基本計画
2. 第1期地域福祉活動計画に基づき取り組んだ主な住民活動に対する評価と課題

#### 1. 第1期地域福祉活動計画（平成28年度～令和2年度）の各地区基本計画・基本目標

##### 生名地区

【基本目標】

人と人が繋がり支え合える地域づくり

【基本計画】

作戦1 誰もが活躍できる地域づくり

作戦2 気軽に集まる居場所づくり

作戦3 後継者の育成を目指す

##### 岩城地区

【基本目標】

誰かが誰かの役に立つ地域づくり

【基本計画】

其の1 地域での支え合い活動の推進

其の2 郷土愛を育む地域丸ごと子育て計画

其の3 住民目線による災害に強い地域づくり

### 『みんなで支え合う島 ふれあいのまちづくり』

##### 魚島地区

【基本目標】

手を取り合いながら  
誰もが安心して暮らせる地域づくり

【基本計画】

其の1 地域での支え合い活動の推進

其の2 地域の「いどばた」づくり

其の3 安心して子育てができる地域づくり

##### 弓削地区

【基本目標】

帰りたい弓削住み続けたい弓削をつくる

【基本計画】

其の1 地域を支える元気なシニア

其の2 みんなのたまり場づくり

其の3 若い力と地域のマッチング

## 2. 第1期地域福祉活動計画に基づき取り組んだ 主な住民活動に対する評価と課題

地区	住民活動	評価・課題
生名地区	シニアサポーター団体 「ささえ愛隊」 発足	ささえ愛隊会員の減少や高齢化が進んでおり、新たな会員の確保による広がり期待すると共に、会員や住民にとって生きがいづくり、地域貢献・活躍の場、居場所となることを期待
	有償ボランティア 「ささえ愛隊のてごう」 開始	
	ささえ愛隊により 地域交流拠点 「ENGAWA」の管理開始	
	つながりづくりが目的の 「ENGAWA マップ」 作成中	町内の地域資源を可視化するマップにより、つながりが醸成される為、完成が待ち望まれる
	「地域子ども食堂」の 立ち上げ準備中	住民有志により活動の開始に向けて準備中
	住民の出番や 居場所、活躍の場を発見	味噌づくりやラジオ体操といった場に地域住民が参加している。今後も集う場づくりの推進や継続できる環境整備が必要 
	自主防災会の 強化に向けて	生名地区防災士連絡協議会により協議が進められており、現状では活動が行われていない地域においても今後の活動開始に期待

地区	住民活動	評価・課題
岩城地区	多様な主体による協議体 「おたすけマン会議」 開始	地域において核となる多様な主体による協議の場として、地域情報や各々の活動を協議中。この場から新たな取り組みの発案・実施に期待 
	シニアサポーター団体 「ハートリーフ」 発足	まずはハートリーフ会員の「したいこと」の実現の回数増に期待  
	有償ボランティア 「おたすけマン」 開始	ハートリーフ会員や地域住民により展開中。この活動により住民に地域貢献の文化が根付くことに期待
	子育てサロン 「おひさま」 発足	元保育士他により展開中。他地区からの来所親子もあり盛り上がりを見せている為、今後も継続に期待
	各所での防災訓練 (防災マップづくり)等 実施	防災意識町内No.1。今後も広がりや意識の醸成に期待 

地区	住民活動	評価・課題
魚島地区	有償ボランティア 「魚島てご屋」 開始	助け合う精神町内No.1。以前からの助け合いを「魚島てご屋」という形にしたことでさらなる発展を期待
	住民同士の交流が盛んに行われている	魚島港務所周辺において様々な交流、井戸端が展開されている。これらの交流は住民の安否確認にも一役買っていることから、今後も無理なく継続を期待
弓削地区	シニアサポーター団体 「ささえ愛隊」 発足	ささえ愛隊会員の減少や高齢化が進んでおり、新たな会員の確保による広がり期待すると共に、会員や住民にとって生きがいづくり、地域貢献・活躍の場、居場所となることを期待
	有償ボランティア 「ささえ愛隊のてごう」 開始	
	ささえ愛隊により 地域交流拠点 「ENGAWA」の管理開始	
	つながりづくりが目的の 「ENGAWA マップ」 作成中	町内の地域資源を可視化するマップにより、つながりが醸成される為、完成が待ち望まれる
	「かみじまみんなの食堂」 開始（毎月第4土曜日）	有志により発足。住民の理解を得て、広がりを見せている。今後も住民のつながりづくりの場としてさらなる発展に期待
	高齢者と 若者・子ども世代の 交流機会の創出	様々な場面において高齢者と子どもとの交流が生まれている。今後は子どもの保護者世代も交流に参加し、より多く広いつながりが望まれる
	自主防災会 の再結成に向けて	解散していた組織の再結成に向けて協議を開始。時間を要すと考えられるが住民の意識醸成のきっかけとなることを期待

## 第5章

### 第2期地域福祉活動計画 地域目標・計画

1. 第2期地域福祉活動計画基本理念・基本目標
2. 第2期地域福祉活動計画生名地区基本目標・基本計画
3. 第2期地域福祉活動計画岩城地区基本目標・基本計画
4. 第2期地域福祉活動計画魚島地区基本目標・基本計画
5. 第2期地域福祉活動計画弓削地区基本目標・基本計画

## 1. 第2期地域福祉活動計画基本理念・基本目標

### 【基本理念】

『みんなで支え合う島  
ふれあいのまちづくり』

### 【基本目標】

#### 其の1 住民の住民による住民のための福祉

多様化する地域の課題等に対し、地域住民や関係機関・団体等が情報共有することで、活用できる地域資源の発掘と新たな地域資源の創造を、住民が主体となって行い、解決に向けた地域福祉の展開を図る。

#### 其の2 日頃から育む支援力・受援力

住民ひとりひとりが地域の中の主役であり、宝であることを再認識し、日頃からの支え合いや見守り合い、つながり合いを育むことで、有事の際においても活かせる支援力、受援力を身に付け、自身や地域の存続を図るための地域福祉を推進する。

#### 其の3 アンテナ力（発信力・受信力）の向上

地域において誰もが気軽に集える居場所づくりの推進と新たな立ち上げを図り、情報を必要としている人に対する確に必要な情報を届けると共に、そこに集う人や住民等から発せられるニーズや課題の情報を収集、整理することで、住民や関係機関・団体等と連携し課題の解決に繋げる。

## 2. 第2期地域福祉活動計画 生名地区基本目標・基本計画

### 【基本目標】

住民が生きがいを持ち見守り合う地域

### 【基本計画】

#### 其の1 誰もが生きがいを持てる地域づくり

高齢化が進む生名地区において、地域住民誰もが住みやすい地域とするためには、まずはそれぞれに生きがいを持つことが重要である。その中で地域への貢献を生きがいと感じる住民が活躍できる地域の推進を目指す。

#### 其の2 気軽に集まり見守り合える居場所づくり

以前は、当たり前のように見られていた井戸端会議も、今では少なくなってしまった。そこで改めて地域のたまり場の良さを考え、お互いに顔が見える場所の再構築とその場所を通じた住民同士が見守り合える関係の構築を目指す。

#### 其の3 後継者不足の解消を考える

地域の様々な場面で後継者が不足している。そのため継続が困難となり、消えていく活動もある。これからは地域の活動を支える後継者の育成を目指すと共に、他地域を巻き込んだ後継者不足の解消方法を考える。

### 3. 第2期地域福祉活動計画 岩城地区基本目標・基本計画

#### 【基本目標】

## 『誰もが主役』となる地域へ

#### 【基本計画】

##### 其の1 地域で見守り支え合う精神の醸成

高齢者のみならず、地域で暮らす人々ひとりひとりが、住民相互の助け合いを意識することで、いつまでも安心して暮らしていける地域づくりにつながる。そのために地域の中で見守り、支え合う精神の醸成を目指す。

##### 其の2 「子どもは地域の宝」の推進

少子化が進んではいるが、地域住民による子育て支援が開始され、また「島に帰ってきたい」と声にする子どもも少なからず存在する。そのような中で、さらに広く地域住民が子ども達への関心を持ち、地域が一丸となって子育てを支援する地域を目指す。

##### 其の3 住民目線による災害にも強い地域づくり

日頃から地域住民同士の交流を図ることで、住民自治は育まれる。日頃から地域の要支援者の把握やだれが支援に向かうのか等を話し合うことで、防災意識の向上を図ると共に、万が一の有事の際にはその住民自治力を活かし災害にも強い地域づくりを目指す。

### 4. 第2期地域福祉活動計画 魚島地区基本目標・基本計画

#### 【基本目標】

## 『支え』・『支えられ』と 『安心』が側にある地域

#### 【基本計画】

##### 其の1 地域での支え合い活動の裾野を拡大

高齢化や人口減少が進む魚島地区において、身の回りのちょっとしたことや買い物等、支え合い活動の担い手自身も高齢化している。今後は支え合い活動の重要性を地域全体で改めて考え、担い手の年齢層の幅を広げることで地域での支え合い活動のさらなる推進を目指す。

##### 其の2 地域の「いどばた」の継続

魚島地区でのサロン活動は活発ではあるが、そこに男性の姿はなく、参加者の固定化や減少もみられる。しかしながら、港務所周辺には入れ代わり立ち代わり住民が訪れ、日々コミュニケーションが図られており、住民の安否確認にも一役担っている。これからも、誰でも気軽に立ち寄ることのできる「いどばた」を継続し、地域住民同士がより密にコミュニケーションを図れる場を目指す。

##### 其の3 子ども達が安心して生活できる地域づくり

さざなみ留学生により地域に活気が戻った。このような状況下、島の宝である子ども達を地域全体で見守り、ふれあいを通じた郷土愛の育成を図るとともに、子ども達が安心して生活できる地域を目指す。

## 5. 第2期地域福祉活動計画 弓削地区基本目標・基本計画

【基本目標】

### つながりと融合により

### 住み続けたい地域へ

【基本計画】

#### 其の1 元気なシニアの生きがいづくり・活躍の場づくり

地域には退職後の元気なシニア世代があふれているが、その力・経験等が発揮できていない方々が少なくない。今後はそれらの方々自身の生きがいづくり、地域における活躍の場づくりにより、自身や多くの住民が住み続けたいと思える地域を目指す。

#### 其の2 「たまり場」によるつながりの醸成

だれでも気軽に“立ち寄り”ことのできる地域交流拠点として ENGAWA が整備されたが、利用する人は限られており、また「移動手段がないために行けない」との声も耳にする。今後は ENGAWA をより多くの方々が利用する「たまり場」にすると共に、新たな「たまり場」の創出による地域住民同士のつながりの醸成を目指す。

#### 其の3 若者と地域住民による地域の活性化

地域のいたるところで「後継者不足」「担い手の偏り」等との声がある。そのため今後は若者、特に弓削高等学校の生徒や弓削商船高等専門学校の学生、地域に移住してきた住民と地域住民が融合することで、地域の存続と活性化に繋げることを目指す。

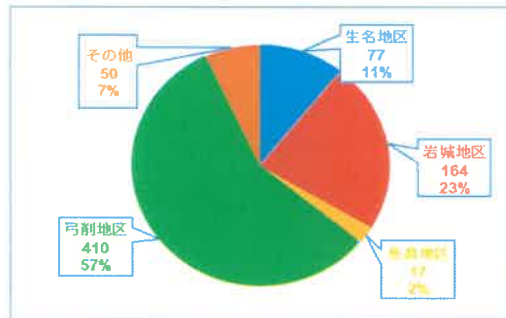
## 第6章 参考資料

1. 「みんなで支え合う島 ふれあいのまちづくり」をめざしてアンケート
2. ワークショップにおける住民の声
3. その他の場面における住民の主な声
4. 策定委員会設置要綱
5. 策定委員等



### ③居住地

	回答数	割合
生名地区	77	10.7%
岩城地区	164	22.8%
魚島地区	17	2.4%
弓削地区	410	57.1%
その他	50	7.0%
合計	718	100.0%



### ④地域福祉活動計画の計画や活動の報告について、感想や質問はありますか？

回答	件数
ボランティアや活動の中身、内容、参加の仕方等を知りたい	68件
(ENGAWA) (ENGAWAマップ) (ささえ愛隊) (ささえ愛隊のごとう) (おたすけマン) (魚島てご屋) etc って何？	67件
人との交流、つながりが大切だと感じる	33件
各種活動に参加したことがある。参加して良かった。役に立った	19件
防災マップを知っている(防災訓練に参加したことがある)(災害に備える)	15件
地域福祉活動計画は良い計画(今回のアンケートが良かった)	15件
さまざまなボランティア活動が行われていることは良いこと	10件
町の歴史に興味がある	4件
ボランティアなのに有償とは？	3件

#### その他の回答

交流の場に興味がある	各種活動の仕組みに興味がある
さまざまな住民の声を聞いてほしい	若者が楽しめる場を考えてほしい
子どもとふれあえる場を考えてほしい	
つながりがパワーになる。町全体のレベルアップにつながる	
住民がもっと町を考えるべき	もっと環境美化に力を入れては？
子どもの遊べる場があると良いと思う	
障がい者に寄り添ったまちづくりを行って	
住む場所の選択肢としては、疑問を感じる	支え合いを頑張る
挨拶を積極的に行う	交通が不便だと感じる
上弓削、下弓削、佐島とかではなく、アンケートの地区が大きいのはなぜ？	
ボランティアを行う理由は？	高齢者に優しいと感じる
第1期地域福祉活動計画の詳細が知りたい	
高専生にボランティアの案件を持ちかけてほしい	

### ⑤あなたにとっての上島町はどんなところですか？

回答	件数
自然がのどか、豊か、きれい	256件
過ごしやすい	215件
人が優しい	104件
ふるさと、(第2のふるさと)	80件
うわさがすぐ広がる、不便等	23件
治安の良さ	22件
可能性を感じる	18件
良い特産品がある	16件
人が少ないからこそそのメリットがある	9件

#### その他の回答

気候が良い	
生きる意志を持っていれば、暮らしやすい穏やかさがある	
考え方が古く、閉鎖的	県内で切り離されている雰囲気
車社会。橋が出来て不便になった	地域ごとに魅力が異なる町
在学中の場所	
町の活性化に取り組んでいる。まとまりがある	
昔から共助が盛んだが、高齢社会で成り立っていない	
停滞した、人任せな町。温度差が各所にある	

### ⑥上島町にこうあってほしい、こうなってほしい！

回答	件数
住み良い町に	99件
買い物しやすい	84件
娯楽施設の充実	70件
環境保全に	55件
交流(多世代交流)(地域間交流)	49件
交通の便の改善	37件
コンビニの充実	28件
自慢できる	26件
観光PR活動	26件

#### その他の回答

治安維持、向上	教育の充実
人口増のための施策	飲食店の充実
ゴミを減らす	仕事や活躍の場
助け合い	イベント
主体的活動	子育て支援

高齢者福祉	伝統や地域を大事に
現状維持	アウトドア、スポーツ施設
便利	意見を吸い上げる場
発展	

⑦上島町でこんなことがしたい！こんなことしようよ！

回答	件数
スポーツ	75件
イベント（アウトドアイベント）（食に関するイベント）（地区対抗イベント）	67件
世代間交流	41件
ボランティア（ごみ拾いなど）	33件
お店、施設の拡充	23件
地区間交流	20件
祭り（伝統や新規）	18件
芸能関係（ライブ）（ロケ招致）	17件
釣り大会	16件

その他の回答

あそび（逃走中など）	子育て世帯支援
他校間交流	郷土学習
eスポーツ	福祉（介助など）
花火大会	体験型学習
カラオケ大会	コンテスト
フリーマーケット	

## 2. ワークショップにおける住民の声

### 「地域をより良くするしくみづくり」（ワークショップ）

における声

- 実施日：10月31日開催の第9回上島町社会福祉大会において実施
- 実施方法：第1期地域福祉活動計画における各地区の基本計画について、「成果」、「さらに伸ばすには」、「課題」、「課題を解決するためには」の考察を参加者により行った。
- 参加者数：73名（弓削高等学校生徒21名含む）

【生名地区1班】

【基本目標】		人と人が繋がり支え合える地域づくり	
【基本計画】	作戦1 誰もが活躍できる地域づくり	成果	さらに伸ばすには
		課題	課題を解決するためには
		成果	さらに伸ばすには
	作戦2 気軽に集まる居場所づくり	成果	さらに伸ばすには
		課題	課題を解決するためには
		成果	さらに伸ばすには
作戦3 後継者の育成を目指す	成果	さらに伸ばすには	
	課題	課題を解決するためには	



【生名地区2班】

【基本目標】		
【基本計画】	人と人が繋がり支え合える地域づくり	
作戦1 誰もが活躍できる地域づくり	成果	さらに伸ばすには
	課題	課題を解決するためには
	成果	さらに伸ばすには
	課題	課題を解決するためには
作戦2 気軽に集まる居場所づくり	成果	さらに伸ばすには
	課題	課題を解決するためには
	成果	さらに伸ばすには
	課題	課題を解決するためには
作戦3 後継者の育成を目指す	成果	さらに伸ばすには
	課題	課題を解決するためには
	成果	さらに伸ばすには
	課題	課題を解決するためには




【岩城地区1班】

【基本目標】		
【基本計画】	誰かが誰かの役に立つ地域づくり	
其の1 地域での支え合い活動の推進	成果	さらに伸ばすには
	課題	課題を解決するためには
	成果	さらに伸ばすには
	課題	課題を解決するためには
其の2 郷土愛を育む地域丸ごと子育て計画	成果	さらに伸ばすには
	課題	課題を解決するためには
	成果	さらに伸ばすには
	課題	課題を解決するためには
其の3 住民目線による災害に強い地域づくり	成果	さらに伸ばすには
	課題	課題を解決するためには
	成果	さらに伸ばすには
	課題	課題を解決するためには



## 【岩城地区2班】

【基本計画】		【基本目標】 誰かが誰かの役に立つ地域づくり	
支え合い活動の推進 其の1 地域での	成果	さらに伸ばすには	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動人材を確保する</li> <li>活動をもっと周知する</li> </ul>
	課題	課題を解決するためには	<ul style="list-style-type: none"> <li>集まる機会を創出する</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人を知らない</li> </ul>		
地域丸ごと子育て計画 其の2 郷土愛を育む	成果	さらに伸ばすには	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア保育人材の養成、確保</li> </ul> 
	課題	課題を解決するためには	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続すること</li> <li>募金により活動を支える</li> <li>補助金等の有効活用</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てサロンおひさまが運営されている</li> <li>祭りが盛んである</li> <li>郷土資料館が存在し、子どもや住民が岩城について知り、考える機会がある</li> <li>居心地の良い居場所がある</li> </ul>		
災害に強い地域づくり 其の3 住民自衛による	成果	さらに伸ばすには	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材の確保を図る</li> <li>住民の防災に対する意識の醸成を図る</li> </ul>
	課題	課題を解決するためには	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続し行う</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災訓練が行われている</li> </ul>		



## 【魚島地区】

【基本計画】		【基本目標】 手を取り合いながら誰もが安心して暮らせる地域づくり	
支え合い活動の推進 其の1 地域での	成果	さらに伸ばすには	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援有償ボランティア「てこ屋」の活用がなされている</li> <li>少人数ではあるがサロンひだまりの活動が定期的に行われている</li> <li>海岸や港湾施設の清掃、整備が図られている</li> </ul>
	課題	課題を解決するためには	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家の再利用方法を検討する</li> <li>人口を増加させる</li> <li>ふるさと納税の活用により支え合い活動を推進する</li> <li>海の環境改善に取り組む</li> <li>若い漁師を誘致する</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>一周道路の清掃が行われている</li> </ul>		
「さすぽ」NVS 其の2 地域の	成果	さらに伸ばすには	<ul style="list-style-type: none"> <li>料理教室が開催されている</li> <li>港務所前の有効活用が行われている</li> <li>花火大会の実施や、祭りでだんじりが運行されている</li> </ul>
	課題	課題を解決するためには	<ul style="list-style-type: none"> <li>船便の増加や無料化</li> <li>SNSでの情報発信</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>買い物や移動手段の乏しさ</li> <li>「いどばた」って何</li> </ul>		
地域NVS 其の3 安心子育てがとれる	成果	さらに伸ばすには	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが多くいた頃は地域で見守る風土があり、さざなみ留学生が移住してきたことによりその風土が再開（復活）した</li> </ul>
	課題	課題を解決するためには	<ul style="list-style-type: none"> <li>移住、定住支援事業</li> <li>空き家の再利用</li> <li>定期便と診療所の存続</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>イノシシが繁殖している</li> <li>少子高齢化</li> <li>交通費がかかる</li> <li>医療体制の脆弱性</li> </ul>		



## 【魚島地区住民の皆様】

【基本計画】	【基本目標】	
	手を取り合いながら誰もが安心して暮らせる地域づくり	
其の1 地域での支え合い活動の推進	<b>成果</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>登校指導が行われている</li> <li>サロンひだまりの活動が行われている</li> <li>運動会、亥の子、発表会が行われている</li> <li>シークリーンプロジェクトが行われている</li> <li>ハロウィンイベントが行われている</li> <li>生活支援有償ボランティア「てこ屋」の認識や利用がある</li> </ul>	<b>さらに伸ばすには</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>回数を増やす</li> <li>ラジオ体操など集合機会を創出する</li> <li>生活支援有償ボランティア「てこ屋」についてより周知を図る</li> </ul>
	<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>魚島の人しかイベントにいない</li> <li>成り手、若者不足</li> <li>支えられる独居高齢者が多い</li> </ul>	<b>課題を解決するためには</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>独自のイベントをつくる</li> <li>住民が中心となり開催、参加するイベント（展示やバザー）を行う</li> <li>より周知を図る</li> <li>有料サービスの単価を高くする</li> <li>民間業者を導入する</li> </ul>
	<b>成果</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>卓球やリレーが行われている</li> <li>棧橋、港務所に人が集まっている</li> <li>運動会、亥の子、発表会が行われている</li> <li>シークリーンプロジェクトが行われている</li> <li>ハロウィンイベントが行われている</li> <li>サロンひだまりが定着している</li> </ul>	<b>さらに伸ばすには</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>回数を増やす</li> <li>会話を増やす</li> <li>小イベントを実施（料理イベント、レクリエーション）する</li> <li>学生との交流を図る</li> </ul>
其の2 地域での「こむた」イベント	<b>成果</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>より盛り上がる催しが開催できていない</li> <li>対象者が限られている</li> </ul>	<b>課題を解決するためには</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒による読み聞かせや、釣り大会といったイベントを企画する</li> <li>回数を増やす</li> <li>定年した層に声をかけ、希望者が参加しやすくする</li> </ul>
	<b>成果</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>登校指導が行われている</li> <li>参観日、地域ふれあい学習会が行われている</li> <li>さざなみ留学制度がある</li> </ul>	<b>さらに伸ばすには</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>回数を増やす</li> <li>参加者を増やす</li> </ul>
	<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>魚島の郷土学習の授業がない？</li> <li>未就学児がいない</li> <li>さざなみ留學生に保護者がいない</li> <li>就職先の少なさによる人口の減少</li> <li>子育て世代が少ない</li> </ul>	<b>課題を解決するためには</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>魚島から弓削などに渡れば働き口がある。そういったことを全国的に宣伝し、人口増を目指す</li> </ul>
其の3 安心して生活できる地域づくり	<b>成果</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「総合的な探求の時間」を活用した関わり</li> <li>ふれあい学習会への参加</li> <li>秋祭りの復活、維持</li> </ul>	<b>さらに伸ばすには</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>若年層の流出防止、移住促進</li> <li>積極的に多世代が参加できる楽しいイベントの企画</li> <li>上島町について考える、話し合う授業を増やす</li> </ul>
<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>第一次産業従事者の高齢化、人手不足</li> <li>伝統行事の減少</li> <li>リーダー不足</li> <li>若者と地域をつなげる難しさ</li> <li>雇用の場の確保</li> <li>SNSの発信量の少なさ</li> </ul>	<b>課題を解決するためには</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>第一次産業の企業化（楽しみ、賃金、指導、高齢者の活用、若い世代の担い手）</li> <li>多世代交流会の実施</li> <li>SNSの有効活用</li> </ul>	

## 【弓削地区（上弓削）】

【基本計画】	【基本目標】	
	帰りたい弓削住み続けたい弓削をつくる	
其の1 地域を支える元気なシニア	<b>成果</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>釣り人との世間話、ゴミ拾いが行われている</li> <li>散歩や地域でのスポーツイベントが行われている</li> <li>活発にボランティア活動が行われている</li> <li>困っている人へ声をかけている</li> <li>楽しい、良い情報の共有が図られている</li> </ul>	<b>さらに伸ばすには</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>生きがい、楽しさの創出、共有</li> <li>誘い合い、支え合う仲間づくり</li> <li>気持ちの良い挨拶や声かけを積極的に行う</li> <li>健康診断を積極的に受診する</li> <li>運動機会の創出</li> </ul>
	<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>第一次産業従事者の高齢化、人手不足</li> <li>第一次産業の難しさ（自然、災害、害獣）</li> <li>無関心、活動方法がわからない</li> <li>メンバーの固定化、既存のグループに入ることの難しさ</li> <li>場所、人材の確保</li> </ul>	<b>課題を解決するためには</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>移住者の募集</li> <li>各種活動の根気強い周知</li> <li>意識して外出や集まりに参加</li> <li>喫茶店など気軽に出かけられる場所を創出する</li> <li>ボランティアへの加入（やりがいの普及）</li> <li>具現化された活動</li> </ul>
	<b>成果</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>上島みんなの食堂（月末土曜日）が開催されている</li> <li>サロンあかりが行われている</li> <li>老人クラブ（集い、カラオケ）の活動がなされている</li> <li>地域交流拠点「ENGAWA」がある</li> </ul>	<b>さらに伸ばすには</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>声をかけ合って、多くの人に参加する</li> <li>体力づくりの場、学びの場づくり</li> <li>宣伝や情報の共有</li> <li>社協への人的支援</li> </ul>
其の2 みんなのたまり場づくり	<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティ不足</li> <li>リーダーや担い手不足</li> <li>気軽に行けるたまり場がない</li> <li>主要施設が下弓削に固まっている</li> <li>土地や活動場所の不足</li> <li>個人情報問題</li> </ul>	<b>課題を解決するためには</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>元気な挨拶、声かけ</li> <li>話し合って、交流の場所の確保、創出</li> <li>空き家の有効活用</li> <li>他地区との交流</li> <li>上弓削にも交流施設を創出する</li> </ul>
	<b>成果</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「総合的な探求の時間」を活用した関わり</li> <li>ふれあい学習会への参加</li> <li>秋祭りの復活、維持</li> </ul>	<b>さらに伸ばすには</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>若年層の流出防止、移住促進</li> <li>積極的に多世代が参加できる楽しいイベントの企画</li> <li>上島町について考える、話し合う授業を増やす</li> </ul>
	<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>第一次産業従事者の高齢化、人手不足</li> <li>伝統行事の減少</li> <li>リーダー不足</li> <li>若者と地域をつなげる難しさ</li> <li>雇用の場の確保</li> <li>SNSの発信量の少なさ</li> </ul>	<b>課題を解決するためには</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>第一次産業の企業化（楽しみ、賃金、指導、高齢者の活用、若い世代の担い手）</li> <li>多世代交流会の実施</li> <li>SNSの有効活用</li> </ul>



## 【弓削地区（下弓削）】

【基本計画】		【基本目標】 帰りたい弓削住み続けたい弓削をつくる	
其の1 地域を支える元気なシニア	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体（猛虎会、婦人会、ささえ愛隊、愛木会・・・）の活動が盛んである</li> <li>散歩している元気なお年寄りがいる</li> <li>中学生とささえ愛隊の交流が行われている</li> <li>高齢化でも盛り上げようと頑張っている</li> <li>地区清掃、ボランティアが行われている</li> </ul>	さらに伸ばすには <ul style="list-style-type: none"> <li>広く声かけを行う</li> <li>積極的に挨拶をする</li> <li>地域のイベントで学校施設を利用する</li> <li>資金、人材の確保</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>物価が高い</li> <li>人材育成が進んでいない</li> </ul>	課題を解決するためには <ul style="list-style-type: none"> <li>アクセスをよくする</li> <li>若者が楽しめる施設をつくる</li> <li>若年層同士の交流を増やす</li> </ul>
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>祭りに多くの住民が参加している</li> <li>相談会（スマホ、年金、相続・・・）が開催されている</li> <li>サロンしおさいが行われている</li> <li>お魚市が開催されている</li> </ul>	さらに伸ばすには <ul style="list-style-type: none"> <li>地域交流拠点「ENGAWA」のさらなる活用</li> <li>気軽に集まれる場所の整備、PR</li> <li>スポーツ応援イベント（阪神ファンの集いとが）の実施</li> <li>資金、人材の確保</li> </ul>
其の2 みんなのたまり場づくり	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報不足</li> <li>引きこもっている住民が多く存在する</li> <li>病院が少ない</li> <li>元気がない</li> </ul>	課題を解決するためには <ul style="list-style-type: none"> <li>シニアサポーターに若い力も入ってもらおう</li> <li>地域医療を充実させる</li> </ul>
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>お魚市の開催やパンの販売が行われている</li> <li>ふれあい学習会、スマホ教室が開催されている</li> <li>グランドゴルフの活動が盛ん</li> <li>観光誘致（サイクリング、ねんりんピック・・・）が盛んである</li> <li>ボランティアを行う住民が多い</li> <li>しまなみ留学が開始される</li> </ul>	さらに伸ばすには <ul style="list-style-type: none"> <li>学生も巻き込んだお祭りの実施</li> <li>イベントほかの周知、共有を行う</li> </ul>
其の3 若い力と地域のマッチング	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>娯楽がない</li> <li>時間がない</li> <li>街灯が少なく夜が怖い</li> </ul>	課題を解決するためには



## 【弓削地区（佐島）】

【基本計画】		【基本目標】 帰りたい弓削住み続けたい弓削をつくる	
其の1 地域を支える元気なシニア	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>サロンすこやかが行われている</li> <li>プールやジムといった施設が充実している</li> </ul>	さらに伸ばすには <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の増設や他地区も巻き込んだ利用頻度の増加</li> <li>サロンの対象者を増やす、広げる</li> <li>目を引くポスターを作る</li> </ul>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>あらゆる周知の不足</li> </ul>	課題を解決するためには <ul style="list-style-type: none"> <li>周知や情報提供をより行う</li> </ul>
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>囲碁や卓球で交流（開発センター）が行われている</li> </ul>	さらに伸ばすには <ul style="list-style-type: none"> <li>声かけ、周知をより行う</li> <li>目を引くポスターを作る</li> </ul>
其の2 みんなのたまり場づくり	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの集まる遊具がない</li> <li>飲食店が少ない</li> </ul>	課題を解決するためには <ul style="list-style-type: none"> <li>予算を取る</li> <li>乳幼児、児童を囲む地域の輪づくり</li> </ul>
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>古民家ゲストハウス「ねぎねぎ」において地域と高校生の協働が図られている</li> </ul>	さらに伸ばすには <ul style="list-style-type: none"> <li>他地区とも協力する</li> </ul>
其の3 若い力と地域のマッチング	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんど来ない実情</li> </ul>	課題を解決するためには <ul style="list-style-type: none"> <li>イベントを増やす</li> <li>関心を持てるスポットを作る</li> </ul>



### 3. その他の場面における住民の主な声

場面	生活支援体制整備事業第1層協議体会議
質問1	属する法人・団体等の各々の課題は？
主な声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後継者不足（同一人物への役割の偏り）</li> <li>・商工会青年部員が減少していることに伴い青年部のイベント継続が困難、女性部員は高齢化に伴い諸活動を行うことが体力的に困難</li> <li>・コロナ禍による会員の減少</li> <li>・島親の協力者が減少傾向。キーパーソンのみ役割が多くなっている</li> <li>・PTA 活動への参加者の偏り</li> </ul>
質問2	属する法人・団体等の中で紹介したい強みや紹介したい人は？
主な声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上島町の良さが語れ、良さに気づかせてくれる移住者</li> <li>・商工会は様々な職種の集合体であることが強み</li> <li>・これまで魚島の小中学生には男の子しかいなかった為、さざなみ留学生の女の子が良い意味で刺激となっている</li> <li>・「自分達の健康は自分達の手で」のモットーのもと、会員自身の介護予防につながる取り組みを地道に行っている</li> </ul>
質問3	住民が集っている場やその場があることによる『つながり』・新たに生まれた『つながり』
主な声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弓削日比の畑に男性5～6名が日々集って、話している</li> <li>・保健栄養推進協議会では、料理教室を通じ地域の方との交流は継続できており、地域行事にあまり参加していなかった男性に声をかけたところ、最初は渋々であったが、積極的に「男の料理教室」に参加している</li> <li>・おたすけマン会議委員の一人が芋炊きをツールとして、委員や子ども、高齢者が集う機会を創出しており、今後も継続したい</li> <li>・農協の開店前に住民同士の会話が行われている光景をよく見かける</li> <li>・イベントが活発に行われ、夏には老人クラブ会員と子どもの交流が行われた。また、弓削地区のひだまり公園で、男性が示し合わせたように集う光景を3グループほど見かけた</li> <li>・地区の子どもが増えたこともあり、数十年ぶりに祭りで神輿を出し子ども達も担ぎ手を担った。また、移住者の企画により、ハロウィンイベントが行われ、地区の全世帯が家庭を訪れた子ども達を振る舞った</li> <li>・港務所内外のベンチで男性15～16名が日々情報交換を行っている。この情報は濃いもので、救急要請がなされたこともある</li> </ul>
質問4	他の委員の意見を聞き、自らが属する法人・団体等ができそうなこと
主な声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブへ声をかけ高齢者と子どもの注連飾りづくりを実施したい</li> <li>・人が集う場所に来ない住民をどのように参加させるかを考えたい</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人とつながりたくない人は一定数存在するが、その方達へ優しい情報提供を心掛けたい。そうすることで意識が変わってくるのではないかと</li> <li>・拠点が同じ場所の団体同士のコラボを継続して行っていきたい。何をすることも男性の参加が少ない為、仕掛けが必要と感じている</li> <li>・清掃活動を含め、地域のことを地域住民みんなで行っていきたい</li> <li>・年齢を重ねることに困りごとが増えることは想像できる。そうなるとう助けが必要。その為により密なつながりを育てていきたい</li> </ul>
場面	おたすけマン会議
主な声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ちびっこ食堂」を定期開催することにより、多世代交流の機会を創出したい</li> <li>・自身や周りが「何をしたいか」を考えることから活動は始まる</li> <li>・雑談がしたくてこの会に参加している</li> <li>・災害に備えた準備が必要</li> <li>・終活で出る家庭の不用品を地域の中でリサイクルできないか</li> </ul>
場面	シニアサポーター団体「ささえ愛隊」座談会等
主な声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ささえ愛隊」が「支えられ隊」になってきている</li> <li>・会員を増やすにはどうしたらよいか</li> <li>・我々も年齢を重ねてきており、後継者が必要</li> <li>・会員を増やす（後継者確保）為に、地域貢献として清掃活動を定期的に行いながら活動をPRしてはどうか</li> </ul>
場面	シニアサポーター団体「ハートリーフ」座談会
主な声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身が何をしたいのかわからない</li> <li>・生活支援コーディネーターの「自身が何をしたいのかを考えては」との発言が、自身の「したいこと」を考えるきっかけとなった</li> </ul>
場面	町内理美容事業者への聞き取り調査
質問1	送迎サービスや出張サービスを行っているか、また、広く周知を望むか
主な声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスを行ってはいるが、今以上の対応は難しく周知は望まない</li> <li>・自身も高齢となり、現状以上のサービスはできない</li> <li>・自身に移動手段がない為、自身を送迎してくれるれば出張サービスは行う</li> </ul>
場面	町内介護支援専門員への聞き取り調査
主な声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の中で、気軽に相談に乗ってくれて、つないでくれるところがあれば、入り口として、行政・社協などの『窓口』はハードルが高いと感じる住民は多い。行政、社協、専門職だけでなく、住民一人ひとりが窓口になるような町になればいい</li> <li>・サービスと家族介護の隙間時間を見守ってくれるといい</li> <li>・認知症で問題行動がない限りは、家族が望むならできるだけ在宅の継続のために動きたい</li> <li>・アルコール依存、パーキンソン、認知症等の家族が辛さや現状を共有でき</li> </ul>

	<p>る場があれば。ただ、家族者の会はハードルが高い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体調が悪い時だけなど、本人のための急なサービスを依頼されたときに対応できない。いざというときに柔軟に対応してくれるサービスがあれば</li> <li>・介護保険サービスはプランに組み込むよりも利用者にとって使いたいときに使える方がいい場合もある</li> <li>・行政関係の諸手続きなど、ケアマネがやれる範囲を超えているかと思うが他にしてくれる人がいない利用者が多い</li> <li>・介護保険サービスよりも、保険外の有償サービスの利用に抵抗がある人が多い。介護保険サービスを使って支援を受ける方が簡単と感じるのは</li> <li>・まだまだ自立して生活したい（できる）人が、困った時にだけ支援してくれるサービスがあれば</li> <li>・介護保険外の有償サービスも担い手の派閥があるのではないかと不安に思う利用者がいる</li> <li>・利用者にとって、信頼している知人が有償サービスなどの担い手として動いてくれるのであればもっと安心して使えるのでは。そうした担い手がつなぎ役にもなってくれると良い。そのためには担い手の拡大や住民全体の意識を変える必要がある</li> <li>・都会に比べ島は支え合いが残っているとは言えなくなってきているのでは</li> <li>・上島町ではヤングケアラーの問題よりも老々介護の方が重大な問題</li> </ul>
場面	老人クラブ会員等への聞き取り調査
主な声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会に参加するのに遠いので車の手配をしてほしい</li> <li>・バスを1時間おきに出してほしい</li> <li>・快速船の便数を増便してほしい</li> <li>・有線の6時のチャイムを家の中では鳴らないようにしてほしい</li> <li>・有線の大事な内容は2度繰り返ししてほしい</li> <li>・老々介護なのでショートステイをつくってほしい</li> <li>・移送サービス、船代など交通費がかさんで困る</li> <li>・集まる場所がない</li> <li>・サロン活動が増えれば行きたい気持ちはあるが、家のことが忙しい</li> </ul>
場面	様々な場面における住民の皆様からの声
主な声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元住民の当たり前が移住者には当たり前ではない</li> <li>・地元住民と移住者の発信力の連携が必要だと感じる</li> <li>・地区のことが地区にしか伝わっていない（他地区住民が知らない）</li> <li>・正しい情報の提供が移住者が生計を立てる手段を模索する際の参考となる</li> <li>・町展等町内イベントへの出展依頼がない。町内でも出展する機会がほしい</li> <li>・移住者が歓迎されている雰囲気ではない</li> <li>・空き家は多いが空き家バンクへの登録は少なく、多くの人が信頼できる人へのみ貸与している</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者の中には自身の立ち位置や地元住民との関わり方を模索している人がいる</li> <li>・移住者と地域コミュニティとのマッチングが必要だと感じている</li> <li>・高齢者の中には情報難民が多く存在するよう感じる</li> <li>・移住定住支援とは異なる立場で、町の案内を担い、情報を発信するボランティアがいれば良い</li> <li>・自己有用感や自己肯定感の為に若い人を有償ボランティア等地域の力に</li> <li>・少人数だからこそできる教育が充実すれば、それを求めて移住してくる人は多くいると思う</li> <li>・地元住民の受援力が弱いように感じる</li> <li>・地元住民や教育現場含め、力仕事等「自分でやってなんぼ」という印象</li> <li>・農業も後継者不足との認識であったが、現実とは異なり、新規就農者にとって現実辛い</li> <li>・交通アクセスが悪く、自動車を運転できない住民にとっては不便</li> <li>・大型のバスは必要ないので、小型の車両を増便してくれるとありがたい</li> <li>・自動車を運転できない高齢者は、因島へ行っても遠くまで行けないことから、「島から出るな」と言われているように感じる</li> <li>・社協が弱いよう（社協の認知度が低いよう）に感じる</li> </ul>
--	---

## 2. 策定委員会設置要綱

### 上島町社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会設置要綱

#### (設置)

第1条 上島町社会福祉協議会地域福祉活動計画（以下「計画」という。）を策定するため、上島町社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会（以下、「委員会」という。）を設置する。

#### (目的)

第2条 住民参加による福祉のまちづくりを総合的かつ計画的に推進するため、地域の福祉課題の解決に取り組み、誰もが安心して暮らすことのできる地域の実現をめざし、計画を策定することを目的とする。

#### (事務局)

第3条 第2条の目的を達成するために委員会の事務局を社会福祉法人上島町社会福祉協議会に置く。

#### (委員)

第4条 委員会の委員には、次に上げる者のうちから、上島町社会福祉協議会会長（以下「会長」という。）が委嘱する。

- (1) 社会福祉団体関係者
- (2) 医療・保健福祉関係者
- (3) 教育関係者
- (4) 地域代表
- (5) 行政機関関係者
- (6) 学識経験者
- (7) その他必要と認める者

#### (委員長及び副委員長)

第5条 この委員会に委員長及び副委員長を各1名置き、委員の互選により定める。

- 2 委員長は会務を総括し、委員会を代表する。
- 3 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代行する。

#### (委員会)

第6条 委員会は必要に応じ委員長が招集する。

- 2 委員長は、委員会の議長となる。

#### (任期)

第7条 委員の任期は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までとする。

#### (小委員会の設置)

第8条 委員会が必要と認めるときは、小委員会を設置できる。

- 2 小委員会は、委員会の指示により計画策定に必要な調査、資料の収集・作成等を行い、その結果を委員会に報告するものとする。

#### (補足)

第9条 この要綱で定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

#### 附則

この要綱は、令和5年4月1日から施行する

## 3. 策定委員等

区分	氏名	経歴
社会福祉団体関係者	宮本 幸生	上島町民生児童委員協議会会長
	松浦 米親	上島町民生児童委員協議会岩城支部長
	小西 佳子	上島町民生児童委員協議会
	横井 里津子	上島町民生児童委員協議会
	濱田 久美子	生名地区婦人会会長
	中本 峯一	ボランティア団体代表
医療・保健福祉関係者	竹林 佳子	上島町健康推進課課長
地域代表	新谷 満	岩城地区区長会会長
	三上 一行	愛媛県漁業協同組合魚島支所支所長
行政機関関係者	山上 耕司	上島町議会議員
	村上 和彦	上島町副町長
学識経験者	横川 武広	上島町社会福祉協議会前会長
	岡野 英二	上島町社会福祉協議会元会長
	中村 一義	魚島地区地区長
	森本 英隆	元上島町監査委員
	山下 正弘	前上島町商工会事務局長・元上島町福祉部長
オブザーバー	高杉 公人	新見公立大学健康科学部地域福祉学科教授
協力	愛媛県社会福祉協議会	

### 策定にあたりご意見をいただいた団体等

生活支援体制整備事業第1層協議会協議委員	おたすけマン会議委員
シニアサポーター団体「ささえ愛隊」会員	シニアサポーター団体「ハートリーフ」会員
町内理美容事業者	町内介護支援専門員
老人クラブ会員等	町内教育機関等
町民の皆様	

区分	氏名	所属・役職
事務局	宮川 阪光	上島町社会福祉協議会 会長
	石橋 俊治	上島町社会福祉協議会 事務局長
	寺下 貴義	上島町社会福祉協議会 事務局次長
	福田 広寿	上島町社会福祉協議会 地域福祉係係長
	田畑 信彦	上島町社会福祉協議会 地域福祉係主事
	大本 悠太	上島町社会福祉協議会 地域福祉係主事
	長谷川 智子	上島町社会福祉協議会 地域福祉係主事
	山口 実和	上島町社会福祉協議会 介護事業係主事

## 上島町社会福祉協議会第2期地域福祉活動計画

発行日 令和6年4月1日

発行 社会福祉法人上島町社会福祉協議会

〒794-2550 愛媛県越智郡上島町生名2133番地3  
TEL 0897-76-2638 FAX 0897-76-2040  
E-mail [info@kamijima-shakyo.or.jp](mailto:info@kamijima-shakyo.or.jp)  
URL <http://www.kamijima-shakyo.or.jp>